

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

募集分野		登録番号
■募集分野	スマートシティ (DX, ICT/G空間情報, MaaS/EV等の新方策によるスマートシティのあり方)	■募集人数 (人) 1
■学位	博士	
■担当部署名	社会基盤部 社会基盤部 都市地域開発グループ 第二チーム	
■募集の背景		
<p>1950年には30%だった都市部人口の割合は、2050年には68%に達する（国連予測）。都市部の面積である全世界の陸地面積のわずか2%に、世界人口の7割が集中することになる。ヨーロッパでは、都市化は200年くらいの時間をかけて進展したが、途上国では都市化の進展は非常に急速に進んでおり、様々な都市課題が生じている。また、都市化による交通渋滞や生活環境の悪化やインフラの不足等の都市内部の問題だけでなく、都市が地球温暖化ガスの大きな排出源になるなど、都市の存在が都市外部にもたらす問題も顕在化、深刻化している。こういった、都市課題に対し、ICT等を通じ、リアルタイムの情報共有やステークホルダーの参加、それらを踏まえた意思決定により、従来の都市開発のPDCAサイクルを劇的に加速し、都市におけるエネルギー消費、環境配慮、安全安心の暮らし、人々の幸福度向上等の最適な関係を構築し、持続可能な都市の実現に貢献するアプローチとして、スマートシティが着目されている。内閣府の定義によれば、スマートシティは、“ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域”である。スマートシティアプローチを取り入れて、ネットゼロ、インクルーシブ、サステナブルな都市の実現に向けて、JICAとしても貢献することが求められている。</p>		
■本事業を通じて育成が期待される人材像		
<p>本ポストでは、都市地域開発分野における、スマートシティアプローチの採用による、従来の都市地域開発の処方箋を越えた解決策について、世界の潮流を理解し、開発途上に適用可能な実践的な知見と、スマートシティの社会への影響、持続可能性に必要な経済面での収益化等に関する知識を身につけることで、将来、当該分野をリードする国際協力専門員やチーフアドバイザー型の専門家等としてJICA事業の案件発掘から形成、実施監視までをリードする人材が育成されることが期待されています。</p>		
■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）		
<p>University of Amsterdam (UvA), Amsterdam Institute for Social Science Research (AISSR https://aissr.uva.nl/content/research-groups/urban-planning/urban-planning.html?origin=Qe5J11V1RLS5yRRti8Crhw)のUrban Planning Research Groupでの博士課程が想定される。同プログラムでは、Urban governance, Critical transport studies, Political ecology, Urban sustainability, Conflictが主要な調査対象としてあげられており、技術/エンジニアリングの視点に加えて、社会、経済といった分野横断的な視点からスマートシティの研究をする上で、優れた研究機関である。また、Center for Urban Studiesには、Smart Cities Research Groupがあり、本研究テーマを追求する上で、多くの有識者、知見が集まっていることも、本大学院が有利な点である。</p>		
■参考情報		
<ul style="list-style-type: none"> ●JICAグローバルアジェンダ「都市・地域開発」 https://www.jica.go.jp/Resource/activities/issues/urban/ku57pq00002cu424-att/urban.pdf ●JICAのスマートシティアプローチ https://www.jica.go.jp/Resource/activities/issues/urban/ku57pq000019fbsv-att/smartcity_01_jp.pdf ●JICAマガジン特集スマートシティ 素敵な街のづくり方 https://jicamagazine.jica.go.jp/article/?id=202108_1f 		
■研修修了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間		
<p>学位取得後に1~2年間JICA本部に勤務した後、専門家等として2年以上派遣されることを想定しています。</p>		
■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）		
望ましい	TOEIC 730点以上	
必須	当該分野に関連する5年以上の実務経験を有すること。	
必須	JICA専門家/海外協力隊として1年以上の派遣経験もしくは同等の海外経験を有すること	
■備考・留意点		
<p>学位取得後に実際にJICA事業に携わってもらう段階では、一つの特定分野のみならず、いくつかの分野の垣根を越えて総合的な視点で関係者を束ねてもらうことを期待しています。そのために必要な人脈づくりや調整能力の醸成も意識してもらえればと思います。</p>		